東京東村山ロータリークラブ





国際ロータリー・テーマ

ロータリーの未来はあなたの手の中に





Vol.43 第2117回例会

2010.3.25

今年度会長テーマ

「誠心誠意、和をもって」"事にあたろう"

■司会: 小町例会運営委員



■点鐘: 杦山会長

■合唱:ロータリーソング 「それでこそロータリー」

◆ソングリーダー: 村田会員



■会長報告

杦山会長

桜の開花早く



今年は二月の気温の、寒暖の差がありまして桜の開花が、一週間早くなったと言われ、東京の開花宣言は靖国神社の桜と言われます。23日飯田橋に検診の折、初めて靖国神社の桜の花を見る機会を得、感動いたしました。桜は日米友好を象徴する花です。「美しい桜の国に来たことを嬉しく思う」。JA全国中央

会が先週開いた国際シンポジウムで、来日し た欧米の農業団体代表はこう語りかけた。米 国ファーマーズユニオンのカールソン国際担 当理事の言葉に思いが巡ったと云う。日露戦 争締結と絡め、「首都ワシントンは三月末に なると日本から贈られた何千本もの桜が満開 になり、多くの人々の心を癒し大変な賑わい になると云う |。桜並木が続くポトマック河 畔では例年、大統領夫人らによる植樹式やパ レードが行われ日本文化紹介事業などの催し が相次ぐといわれます。戦争締結に向けポー ツマス講和条約が締結されたのは1905年。交 渉の仲介役を担ったのが当時のセオドア・ルー ズベルト米国大統領です。その苦労に謝意を 込め、ちょうど100年前に日本から桜の苗木 3000本が贈られました。だが思いがけない事 態が起きました。害虫が付いていたため、苗 木はすべて焼却処分されてしまった。防除を 徹底し再度、米国に贈られたのは2年後のこ とでした。米国から桜のお礼にと、その3年 後にハナミズキが贈られてきました。こうし た日米友好の歴史を刻む2つの花。ちなみに ハナミズキの花言葉は「返礼」というそうです。 東村山駅東口桜まつり来月4日です。年々桜 の木が大きくなり見ごたえのある、街道にそ だっております。皆様も花見と洒落てみてく ださい。

- ■例会日/毎週木曜日 12:30~13:30
- ■例会場/八坂神社 社務所 〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1
- ■クラブ管理委員会/中丸 繁男 野村 高章
- ■事務所/〒189-0013 東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101 TEL 042-393-7500

■幹事報告

高橋幹事



- ■ガバナー事務所:
- ・4月のロータリーレート 1ドル=90円
- ・ロータリー財団ニュースレターより転送資 料の受理
- ・次年度(在京)地区会員増強セミナー開催の 案内の受理 2010年5月18日(火) 15:00~ 於 ホテルメトロポリタンエドモント
- ■対人地雷特別委員会:

2009-10年度第5回対人地雷の除去特別委員 会の案内について 2010年4月7日(水) 15:00~17:00 於 日本橋倶楽部

■青少年交換委員会:

第10回地区青少年交換委員会の案内について 4月7日(水) 15:00~17:00 於 ガバナー事務所

■地区WCS委員会:

「プロジェクトリンク一覧」日本語ページの お知らせについて

■桜華女学院高等学校:

高等学校第53期生の入学式の案内の受理 平成22年4月9日(金) 10:30~ 於 第一体育館

■回覧: 「友」インターネット速報 No.421 武蔵野女子学院 ニュースレター

■出席報告 北久保例会運営委員



在籍会員数	出 席	免 除	欠 席	出席率
38	25	1	12	64.71

■前々回メークアップ修正後前々会欠席:7名 ■前々回出席率メークアップ修正後:79.41%

■前々会メークアップ者:相羽会員:所沢RC

目時会員:地区拡大增強委員会

田中会員:理事会山本会員:理事会

■ニコニコBOX 金子クラブ管理委員



◆杦山会長、高橋幹事:

五十嵐パスト会長様、本日の卓話ありがとうございます。私達若年への更なるご指導よろしくお願い致します。 杦山会長、米山奨学館研修会の写真たくさんありがとうございます。 写真の腕前は最高です。良く撮れてました。

- ◆山本会員: 杦山会長、写真ありがとうございました。米山梅吉記念館ツアーでは体調をくずし皆様にご心配をかけて申し訳ありませんでした。
- ◆二ノ宮会員、中丸会員:

昨日五十嵐会員が会長を務める東村 山ゴルフ連盟春季大会にて私と二ノ 宮会員が出場して久米川町が団体優 勝をしました。恩多会の田中さん、 廻田会の野澤さん、ごめんなさい!!

- ◆小町会員: 久米川楽市よろしくお願いします。
- ◆野崎(一)会員、木下会員、隅屋会員: 写真ありがとうございます。

本日のニコニコ合計: 13,000円 累 計 :1,105,680円

■委員長報告

■當間社会奉仕委員長



平和塔公園清掃の件について

平和塔設置は昭和36年の6月10日に建設され 戦没者の慰霊を目的として建設された。平和 式典は今は公民館で行われている。清掃作業 は設置以来初めての事。予定通り3月28日(日) に実施いたします。

■小町会員



久米川駅北口ロータリー完成記念イベントであるフレッシュ楽市の件につき説明。 3月28日9時~16時迄とし、テント張りからすべて自分達でやります。平和塔の清掃作業が

終了してから是非参加願います。

■卓話

■卓話者: 五十嵐パスト会長



私は昭和27年、大卒後、合同証券に入社しました。そして株の売買はどのようにして値がつくのか、その頃の株式取引所はまだまだ昔のままで、場立ちといって各会社から選ばれた何人かの社員が取引所に入り全て手と指を使って株価を決めていました。

例えば、買いは手のひらを内側に向け、売りは手のひらを外側に向け、数字を表す指は1,2,3,4,5,6,7,8,9,10、取り消しの場合は左手の甲をつまむ。

これで売買が成立していたとは今ではとても

考えられません。そして投資する人はと云え ば、各社の銘柄入りの大きな黒板の前で、耳 にレシーバーをはめ、長いコードを引きずり ながら右に左に上に下に、次々に新しくチョ ークで記入される相場をみながら高いか安い か、買うか売るかを決めていたわけですから、 よく言って相場を自分の目で確かめてメリハ リある判断が出来たと思います。又、この頃 は株の売買は100株、500株で株価が安く、お 医者さん、学校の先生、農家の人、主婦をは じめ、一般大衆、誰でも気軽に証券会社に立 ち寄れ、買い易かったと思います。もちろん 10代の女性でも買えました。例えば80円のあ る銘柄を500株買って4万円です。その頃の大 卒すぐの給料は15,000円前後位だったと思い ます。ここでもう一つ余談ですが、この頃の 兜町には小粋な着物姿の中年女性がのりまき、 いなり寿司、和菓子などを会社の店頭や廊下 にちょっと広げて並べて、遠くから出向いて みえるお客さんが相場の合間に一服できるよ うに、そしてこれが結構利用されていました。 しかし早い時期に消えていきました。又、証 券界にはいつどんな事が起きるかわかりませ ん。特に昭和28年2月、ソ連のスターリンが 亡くなり、その時の株の大暴落は凄いもので した。相場の動きが激しく、まだソロバンの 時代、商いの受け渡しなどに残業に次ぐ残業 で、何が何だかわからないまま日が過ぎ、入 社して翌年のこの経験は経済はどうなる、株 はどうなる、初めて株の怖さを知る大勉強に なりました。

次に、昭和31年から33年にかけて週刊朝日に 連載されました獅子文六の小説「大番」ですが、 これは合同証券、佐藤和三郎社長がモデルだ と云われています。主人公ことギューちゃん は加東大介さんが演じ映画もヒットしました。 佐藤社長は相場勘が良く、買銘柄の会社の物 がこれから役に立つ、会社の役員メンバーが 凄い、将来があると考えれば買に、そして商、 利益・・・二部市場にとジャパニーズドリーム の具現者として夢の実現など業界でも買の合 同証券、売の山種証券(商品扱い大手)と競い 大手証券会社を相手に大活躍しました。その 後、山種証券は横山大観とも親交のあった社 長、山崎種二氏がその頃収集した明治から現 在までの日本画1800点を収蔵し、現在は渋谷 区広尾に山種美術館として現在一般に公開さ れています。

一方証券界はどんどん変化し、投資信託などが売り出され証券会社にまかせる投信の時代に合同証券は21世紀にどうしたらこれから生き残れるか・・・四大証券の市場支配が強まり相場師としての社長は限界を悟り、昭和33年3月1日、当時四大証券の一つだった山一証券

東京東村山ロータリークラブ

の傘下に入り協立証券となりました。佐藤和 三郎社長は、まだ人のあまりやっていない早 い時期からゴルフをやり自らゴルフ場の経営、 不動産業に移りました。

協立証券は昭和33年3月1日資本金5千万で営 業を開始しました。その後、縁があって私は 昭和53年3月8日東村山ロータリークラブに入 会させて頂きました。当時サラリーマンの入 会者は少ないと云われていました。普通では なかなか会合に出席できません。私も朝7時 前に家を出て兜町まで、昼少し前に会社を出 て東村山の会合に、そして終わってまた兜町 に・・・今考えてもロータリーに出席出来まし たことは、野村社長がロータリーに理解があ り、率先して出席を奨励し、又会社の同僚の 協力に今更ながら感謝しております。その後 協立証券は昭和54年7月1日に増資し、資本金 が3億になりました。昭和61年から62年にか け日本経済は大幅な円安によるデフレ効果が 一段と鮮明になり、公定歩合が61年11月1日 第4次と、62年2月23日第5次と引き下げられ、 大幅な金融緩和策がとられ機関投資家の積極 的余裕資金運用、又はNTT株の売り出しが あり、個人の株式の買が高まり62年1月16日 この時史上初の2万円台に平均株価がのりま した。

私としましては営業マンとして、実に多くの良き投資家に恵まれ成績をあげることが出来ました。その後相場の過熱化による調整、米国公定歩合の引き上げ、インフレ懸念の高き上げ、インフレ懸念の高き上げ、インフレ懸念のを見いた。ち月までの上昇、一個なのではかって経験したことのない大幅なものでした。しかし、この様な情勢下にあって協立証券としましても当期株式売買高15億株、債権売買高4兆円、投信部門金、手数料収入、金融収益)から償却、準備金の繰入れ、繰り戻しを行い営業費用66億円を引いて経常利益は33億円の成績を上げていました。

そして私は、昭和62年12月4日、取締役から常務取締役に就任いたしました。その後協立証券の資本金は昭和63年7月1日、20億に増資され30周年を迎えました。私もその後、常勤監査役、業務管理本部の顧問などを経て平でまります。今では選挙界も進歩し、電子化され株券は個人の手元になく、注文もインターネットでの時代、アメリカはじめ世界状況であっという間の株価の変動、いよいよ老兵には近寄りがたい時代になったと思います。平成22年3月24日NHKニュースで家庭の現金・預金の残が803兆円に増えたとのこと。日本経済もどん変わって行きます。

■点鐘:杦山会長